

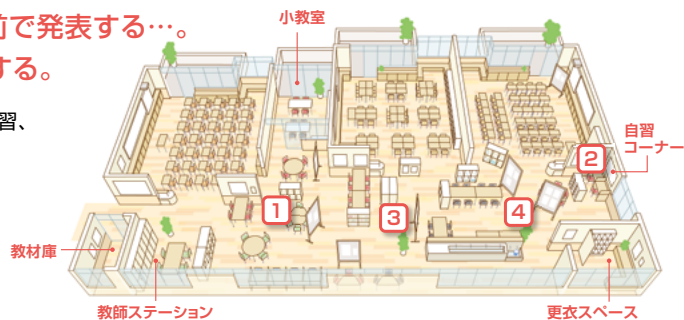
協同的な学習を支える教育施設 オープンスペース／ラーニングcommons

一斉授業だけでなく多様な学習法を展開できるよう、小・中学校ではオープンスペース、大学や高等学校ではラーニングcommonsが計画されています。計画例から活動内容を見てみましょう。

▶ オープンスペース(初等・中等教育)

自ら主体的に学ぶ、グループで学び合う、みんなの前で発表する…。
さまざまな場面を生み出し、共に学ぶ喜びを大きくする。

教室まわりにオープンスペースがあることで、先生が連携して、総合的学習、グループ学習や個別学習などが展開しやすくなります。大型テーブルや組合せテーブルを用意し、教材棚や掲示板でさまざまなコーナーを作っておくと、授業の中で随時活用できます。動かしやすい家具で、学習内容に応じてコーナーを作りかえられます。



1 学び合う・調べる

グループで話し合い、協力して学習に取り組みます。図書やパソコンを使って調べます。

2 自ら学ぶ

一人で予習・復習や、プリント学習をします。

3 発表する

グループで、クラスで、学年ごと、さまざまな規模で発表活動を行います。

4 掲示・展示する

調べ学習などの成果物や学習テーマに沿った資料を掲示・展示します。

テーブル E5シリーズ



→P.536

収納 E5シリーズ



→P.538

掲示板 E5シリーズ



→P.537

チェア SC-300シリーズ



→P.542

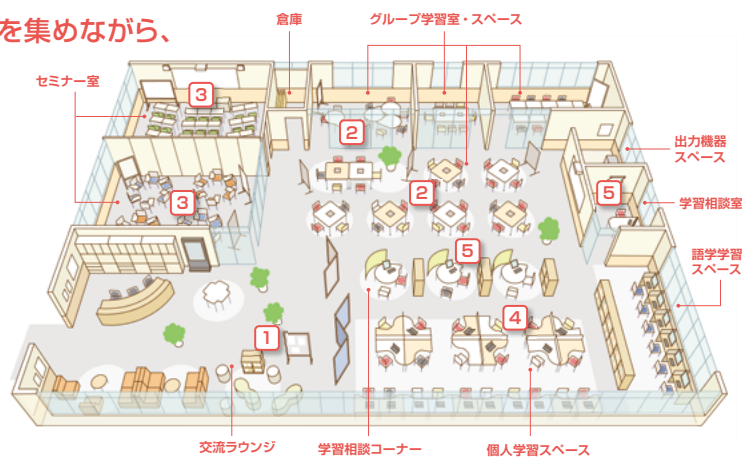


E5シリーズ →P.536

▶ ラーニングcommons(高等教育)

自由な雰囲気の中で、話し合い、相談し、情報を集めながら、
協同的な学習活動を進める。

考える力やコミュニケーション能力を高めるため、課題解決学習やディベートなどの主体的な学習法の導入が進んできました。グループで行う議論や協同作業、図書とパソコンをあわせた情報加工、プレゼンテーションが行える新たな学習支援空間が「ラーニングcommons」です。



1 交流する

自由に情報交換します。

2 グループワークをする

必要な情報を集めて議論しながら整理し、発表の練習をします。

3 議論・討論・発表する

講義だけでなく、参加型のアクティブラーニングを行います。

4 調べる・情報を加工する

図書やデジタルデータを調べながら、レポートを作成します。

5 学習相談をする

大学院生や専門スタッフにレポート作成やカリキュラム選択などについて相談します。

ロビーチェア LS-RS



→P.514

PCロッカー



→P.465

テーブル E5シリーズ



→P.536

掲示板 E5シリーズ



→P.537

チェア PT



→P.235

チェア M-500NTシリーズ



→P.234

ローバーティション TSスクリーン



→P.164



pixta →P.049



Linello2パーソナル →P.542

※ホワイトボードは参考商品です。

FK カウンター



→P.508

ブックトラック



→P.549

図書館用家具(木製) TJシリーズ



→P.548